

Red Cross Kyoto

赤十字 きょうと 2019 1月号



避難所の巡回診療を行う救護班（平成 30 年 7 月豪雨災害・岡山県倉敷市）



第100回 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(京都府宇治市)

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

 日本赤十字社 京都府支部
Japanese Red Cross Society



平成30年7月豪雨 ～被災地に救護班を派遣～

宮津市 川向地区

昨年7月5日(木)から降り続いた大雨は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。京都府支部では、赤十字のネットワークを生かし、被災地に救援物資の搬送や救護班の派遣等を行いました。



被災者の診療を行う京都第二赤十字病院の救護班

京都府内に救援物資を搬送、岡山県倉敷市で救護活動を実施

「平成30年7月豪雨」に対して、京都府支部では、府内で被害にあわれた皆さんのが避難されている各地の避難所等に直ちに救援物資をお届けしました。

また、7月13日(金)から18日(水)にかけて、日赤災害医療コーディネートチームや救護班を甚大な被害を受けた岡山県に派遣し、被災地の避難所の巡回診療等を実施しました。

なお、日本赤十字社では、今回の災害に際し、皆様からいただいた200億円以上の義援金を順次被災地に送金しています。

各地の防災訓練に参加

京都府支部では、大規模災害の発生に備え、地方自治体等が実施する総合防災訓練に参加し、災害対応能力の向上に努めています。

9月に実施された京都府や京都市の総合防災訓練では、救護班や防災ボランティアが参加し、警察、消防等と連携しながら、傷病者の救助や機材の設置等を行い、緊急時の対応について確認しました。また、10月には、JR西日本主催の列車事故総合防災訓練に参加し、関係機関の連携について確認しました。



列車事故総合防災訓練に参加



熱心に意見交換をされる日吉ヶ丘団地の方々

お互いに助け合うため ～災害エスノグラフィーを実施～

10月27日(土)に福知山市日吉ヶ丘団地集会所で、赤十字防災セミナー「災害エスノグラフィー」を実施しました。

災害エスノグラフィーとは、被災された方々の体験を通して、災害の全体像を理解し、次に何が起こるか想像するための力を養うことができるプログラムです。

参加者の方々は大変熱心に意見交換をされ、「水害が起きたら、この地域は孤立してしまう。普段からの隣近所との繋がりが大事だ」といった意見が発表されました。



100回目の夏 リーダーシップ・トレーニング・センター

フィールドワークに
取り組む参加者

平成30年度京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを、8月4日(土)～8月6日(月)の2泊3日の日程で、宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」において開催しました。

「気づき、考え、実行することを学ぶ

この事業は、京都府支部が全国に先駆けて大正3年に結核予防助成事業として開設した夏季児童保養所から数えて、今回が記念すべき100回目(昭和19年から23年は中断)となり、開会式では山田啓二支部長がボランティア精神の重要性などについて挨拶を行いました。

京都府内の小学生から高校生まで103人が参加し、「他のみんなのことを考え、自ら進んで行動する」ボランタリー・サービスや赤十字が行っている応急手当、献血、防災教育、国際活動などについて学びました。



応急手当の方法を学ぶ JRC メンバー



マレーシアのユースメンバーと記念撮影

マレーシアに JRC メンバーを派遣 ～近畿ブロック合同青少年赤十字国際交流事業～

日本赤十字社第4(近畿)ブロックでは、青少年赤十字奉仕団メンバーとマレーシア赤新月社メンバーの国際交流事業を毎年(隔年で受入れと派遣)実施しています。

平成30年度は京都府支部が当番となり、京都府立嵯峨野高校の小川雅史校長を団長として、高校生メンバー12名と青年赤十字奉仕団員2名を含むスタッフがマレーシアを訪問し、赤新月社本社及び国際赤十字赤新月社連盟アジア大洋州地域事務所(IFRC)の表敬訪問や、現地のユースメンバーとの交流を行いました。

参加された方々は、素晴らしい出会いと交流の場であり、この事業で学んだことをこれからの活動で生かしていきたいと話されていました。



イラストシートを見て身を守る方法を考える園児たち

ぼうさいまちがいさがし 「きけんはっけん！」を作成

日本赤十字社では、自然災害やいのちの大切さを学び、主体的に防災に取り組むための小・中・高校生向けの教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」に続き、幼稚園・保育所向けとして、新たに「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を作成しました。

9月12日(水)には、JRC加盟園の京都市立京極幼稚園で、地震の際の安全な避難方法などについて考える防災保育が行われました。園児たちは「勝手に幼稚園の外に出たら危ない」といった発言をしていました。



子ども救護服着用体験コーナー

地域のイベントで赤十字をPR

京都府支部では、赤十字運動について一人でも多くの皆様に知っていただくため、府内各地のイベントに参加し、啓発活動を行っています。

11月23日(金・祝)に京都府立植物園で開催された「あすのKyoto・地域創生フェスタ」では、山田啓二支部長も駆けつける中、赤十字京都ユースや青少年赤十字高校生メンバーと協力しながら、缶バッジ作成コーナーや子ども救護服着用体験コーナー等で多くの方に楽しんでいただき、赤十字について理解を深めていただくことができました。



京都市内の事業者として初の受賞
(写真は池田院長)



厳粛かつ幻想的な雰囲気の式典の様子

看護専門学校で宣誓式・戴帽式を挙行

11月29日と30日に、京都第二赤十字看護専門学校(29日・宣誓式)と京都第一赤十字看護専門学校(30日・戴帽式)が挙行されました。看護学生たちは、山田啓二支部長から激励の言葉を贈られ、夢の実現に向け決意を新たにしていました。



災害時における救護活動の拠点としての機能も備えています

京都府赤十字血液センターが移転しました

京都府赤十字血液センターが名神高速道路や阪神高速8号線のインターチェンジに近接する京都市伏見区中島に移転し、10月28日(日)から業務を開始しました。

新社屋は地上6階建てで、最新の血液保管設備を備えているほか、災害用の救援物資も多数備蓄しており、災害時には、救護活動の拠点となる機能も備えています。

京都府内では1日に約300人分の血液を必要としています。引き続き、献血へのご協力を願いします。



あなたのご支援が 赤十字の活動を支えています

街頭募金への協力を呼びかける
青少年赤十字奉仕団メンバー

赤十字の諸活動は、皆様からお寄せいただく資金によって支えられています。ご協力いただいた資金を活用し、「いのちと健康を守る」ための活動を展開しています。皆様からの温かいご支援をお待ちしています。

活動資金にご協力をお願いします

●地域でのご寄付

赤十字奉仕団や町内会・自治会などを通じてご寄付いただいているほか、年間を通じて府内各市区町村の日赤窓口からもご寄付いただけます。

●口座振替によるご寄付

ご登録いただいた金融機関の口座から希望月に自動引き落としてご寄付いただく方法です。日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

●クレジットカードによるご寄付

ご登録いただいたクレジットカードから、寄付回数を選択してご寄付いただく方法です。日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

●遺贈・相続財産等のご寄付

近年、「亡くなった後、財産の一部を寄付したい」、「故人の遺産を社会のために役立てほしい」というお申出を多くいただいている。京都府支部では、このような尊いご意志に応えるため、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っています。詳細について記載したパンフレットを作成していますので、当支部(075-541-9326)までお気軽にお問い合わせください。

●寄付金付自動販売機の設置

自動販売機の売上げの一部をご寄付いただく方法です。設置に要する費用は全て販売会社が負担します。新規設置だけでなく、更新設置も可能です。詳細は当支部(上記の番号)までお問い合わせください。



活動資金にご協力いただいた
鳥羽高校の皆さん



寄付金付自動販売機のイメージ

<活動資金にご協力いただく際の流れ(クレジットカードによるご寄付の場合)>



「海外たすけあい」にご協力いただき ありがとうございました

日本赤十字社では、日本放送協会(NHK)と協力して毎年12月1日から25日まで「海外たすけあい」キャンペーンを実施することにより、ニュース性に乏しく関心が集まりにくい途上国等で被災者の命と健康を守る活動を展開しています。1983年に1回目の活動を実施して以来、これまでに世界で延べ155か国の人々へ支援を届けています。

京都府内では、青少年赤十字奉仕団メンバー(JRC)や青年赤十字奉仕団員(RCY)の方々にもご参加いただき、12月8日(土)に四条河原町、12月24日(月・祝)にイオンモールKYOTOで街頭募金を実施し、多くの皆様にご協力いただきました。温かいご支援をありがとうございました。





いざという時のために ～各種講習会のご案内～

京都府支部では、健康で安全な生活を営めるように、救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法等の講習やセミナーの企画、実施をしています。



救急法

日常生活における事故防止、一次救命処置(心肺蘇生、AEDの使い方、気道異物除去)、きずの手当の方法などについての知識と技術を習得できます。



水上安全法

水の事故から人命を守るために必要な知識と技術が学べます。



幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気に対する手当などを学べます。



健康生活支援講習

高齢期を健やかに生きるために必要な知識や高齢者の支援・自立のために役立つ介護技術を習得できます。

講習の種類	日程(平成31年1月～3月)	会場	定員
救急法(基礎講習)	3月1日(金)～3日(日)	あうる京北(京都府立ゼミナールハウス)	40名
救急法(救急員養成講習)			
水上安全法	(今年度の開催については終了しました。)		
幼児安全法	2月16日(土)～17日(日)	日本赤十字社京都府支部	20名
健康生活支援講習	1月19日(土)～20日(日)		20名

お申込み・お問い合わせ

講習の受講は、京都府支部ホームページ
(<http://redcross-kyoto.jp/wordpress/seminar/schedule/>) からお申し込みください。

- ・定員を超える申込みがある場合は抽選となります。
- ・お申し込みいただいた全ての方に、開催日の2～3週間前を目途に受講の可否等についてのお知らせをお送りします。
- ・詳細につきましては、お電話でお問い合わせください。
(担当)事業推進課

TEL : 075-541-9326

